

年代	曲名	歌い出し	範疇	モチーフ	流行歌史	講談/昭和	時雨歌謡集	さすらい	20CD	備考
明 21	故郷の空	夕空晴れて 秋風吹き	洋唱	望郷	◎					22 憲法発布 27-28 日清戦争 37-38 日露戦争 43 韓国併合
	孝女白菊の歌	阿蘇の山里 秋ふけて	唱	搜父	◎					
24	道は六百八十里	道は六百八十里 長門の浦を船出して	軍	従軍	◎					
34	散歩唱歌	来れや友よ 打ちつれて	唱	行楽	◎		○			
40	旅愁	更け行く秋の夜 旅の空の	洋唱	望郷	◎	◎				
大 3	カチューシャの唄	カチューシャかわいや 別れのつらさ	劇	放浪	◎	◎	◎		◎	第一次世界大戦勃発 ロシア革命
6	さすらいの唄	行こ戻ろか オーロラの下を	劇	放浪	◎	◎	◎		◎	
7	森の娘	どこからわたしゃ 来たのやら	劇	放浪	◎	◎				ヴェルサイユ条約 9 戦後恐慌
8	恋の鳥	捕えてみれば その手から	劇	放浪	◎	◎				
10	船頭小唄	おれは河原の 枯れすすき	職	無宿	◎	◎	◎	○	◎	
	赤い靴	赤い靴 はいてた 女の子	童	離郷	○					
11	流浪の旅	流れ流れて 落ち行く先は		放浪	◎	◎	◎	○	◎	
	馬賊の唄	僕も行くから 君も行こ	陸	放浪	◎	○				
12	旅人の唄	山は高いし 野はただ広し	劇	放浪	◎	◎	◎	◎		昭3 ビクター発売 関東大震災 14 ラジオ放送開始
	月の沙漠	月の沙漠を はるばると	童	放浪	◎	○	◎	◎		
13	すたれもの	わたしは此の世の すたれもの		放浪	◎	○	◎	◎		
昭 4	杳掛小唄	意地の筋金 度胸のよさも	股	放浪	◎		◎	○	◎	2 金融大恐慌 このころ失業者増大 満州事変
5	馬追手綱	煙る浅間の 麓で明けて	職	流転	◎					
6	侍ニッポン	人を斬るのが 侍ならば	股	放浪	◎	◎	◎		◎	
	ルンペン節	青い空から 紙幣(さつ)の束が降って	職	無宿	◎		◎		○	
7	野分の唄	心とぼしめて 野に出て見たりゃ		放浪	◎					満州国成立 五・一事件
	涙の渡り鳥	雨の日も風の日も 泣いて暮らす		放浪	◎	◎	◎	◎	◎	
8	サーカスの唄	旅のつばくら 淋しいか	職	流転	◎	◎	◎	○	◎	
	旅がらす	泣くも笑うも 短い命	股	放浪	○					
	キャラバンの鈴	広い砂漠を はるばると	陸職	流転	○		◎			
9	急げ幌馬車	日暮れ悲しや 荒野は遙か	陸	放浪	◎	◎			◎	
	赤城の子守唄	泣くなよしよし ねんねしな	股	(放浪)	◎	◎	◎		◎	
	谷間のともしび	たそがれに わが家(や)の灯(ひ)	洋歌	望郷	◎					
	山は夕焼	山は夕焼 麓は小焼		放浪	◎				○	
	国境の町	櫓の鈴さえ 寂しく響く	陸	放浪	◎	◎	◎	◎	◎	大凶作
10	ふるさと欲しや	ふるさと欲しや 夢ほしや		放浪	◎					
	旅笠道中	夜が冷たい 心が寒い	股	放浪	◎	◎	◎	◎	◎	33 同名異曲
	夕日は落ちて	荒野の涯に 日は落ちて	陸?	放浪	◎	○			◎	
	悲しきジンタ	かけたテントも 色褪せて	職	流転	◎					
11	遠い湯の町	君に別れて 天城を越えりゃ	失	放浪	○					二・二六事件 メーデー禁止
	星影追うて	恋し思いを つばさにこめて	失	放浪	○					
	椰子の実	名も知らぬ 遠き島より	歌	放浪	◎		◎			
12	赤城しぐれ	月は雲間に 赤城はしぐれ	股	放浪	◎				◎	
	人生の並木路	泣くな妹よ 妹よ泣くな		放浪	◎	◎	◎	○	◎	日華事変勃発
	妻恋道中	好いた女房に 三下り半を	股	放浪	◎	◎	◎	○	◎	
	湖底の故郷	夕陽は赤し 身は悲し		放浪	◎	○	◎		○	
	浅間日ぐれて	渡り鳥 風に吹かれて	失	(放浪)	○					
	流転	男命を みすじの糸に	股	放浪	◎	◎	◎	○	◎	
13	鴛鴦道中	堅気育ちも 重なる旅に	股	放浪	○	○			◎	
	忠治子守唄	ねんねんころりと 寝顔をのぞきゃ	股	放浪	○					
	からゆきさんの唄	暗い海辺の 船着き場	異国	放浪	◎		◎			
	母子(おやこ)船頭唄	利根のお月さん 空の上	職	無宿	◎				○	
	旅の夜風	花もあらしも 踏みこえて	恋	(放浪)	◎	◎	◎	○	◎	
14	国境の春	遠い故郷は はや春なれど	陸	放浪	◎					
	浮世の旅路	一つ山越しゃ 他国の星が		放浪	○					
	男一匹の唄	赤い夕陽は 砂漠の果てに	陸	放浪	○					
	港シャンソン	赤いランタン 夜霧に濡れて	航	放浪	◎	○	◎	○	○	
	虹よ消ゆるな	行こ北満 もどろか南支	陸	放浪	○					
	名月赤城山	男ごころに 男がほれて	股	放浪	◎	◎	◎	○	○	第二次世界大戦勃発
	大利根月夜	あれを御覧と 指さす方(かた)に	股	(放浪)	◎	◎	◎	○	◎	
15	湖畔の宿	山の寂しい 湖に	失	放浪	◎	◎	◎		◎	紀元二千六百年
	大陸列車	紅い灯し火 夜霧に消えて	陸	放浪?	◎					
	南洋航路	赤い夕陽が 波間に沈む	航	放浪	○	○			◎	
16	ああ草枕幾度ぞ	ああ草枕 いく度ぞ	軍	(従軍)	◎				○	太平洋戦争勃発 原作には山行モチーフなし ジャズ・米英曲禁止
	夜霧の馬車	行け 嘆きの馬車	陸	放浪	○				○	
17	新雪	紫けむる 新雪の	山	(放浪)	◎	◎	◎		◎	
18	勘太郎月夜唄	影か柳か 勘太郎さんか	股	放浪	◎	◎	◎	◎	◎	
21	港に灯りの点(とも)る頃	港に灯りの点る頃に	航	(放浪)	○					20 敗戦
	旅役者の唄	秋の七草 色増す頃よ	職	流転	○					
22	啼くな小鳩よ	啼くな小鳩よ 心の妻よ		放浪?	◎	◎	◎	○	◎	新憲法施行
	三日月娘	幾夜重ねて 砂漠を越えて	陸	放浪	○					
	星の流れに	星の流れに 身を占って	戦	無宿	◎	◎	◎	◎	◎	
23	流れの旅路	紅いマフラーをいつまで振って	職	流転	◎		◎	◎	○	
	湯の町エレジー	伊豆の山々 月あわく	失	(放浪)	◎	◎	◎		◎	
	バイカル湖のほとり	豊かなる ザバイカルの	異国	放浪	◎					
24	流れの船唄	葦の葉陰に よしきり啼いて		放浪	○					
25	涙のチャング	昨日は南 今日北	陸	放浪	○					
	越後獅子の唄	笛にうかれて 逆立ちすれば	職	流転	◎	○	◎	○	◎	
	流亡の曲	美しい山 なつかしい河	戦	放浪	◎					25-28 朝鮮戦争

年代	曲名	歌い出し	範疇	モチーフ	流行歌史	講談/昭和	時雨歌謡集	さすらい	20CD	備考
26	私は街の子 上州鴉 雪山讃歌	私は街の子 巷(ちまた)の子 銀の朱房(しゅぶさ)に ねぐらを追われ 雪よ岩よ われらが宿り	戦 股 山	無宿 放浪 (放浪)	○ ○ ◎	○ ○	◎		○	民放ラジオ開始 サンフランシスコ平和条約 米国曲に昭3作詞
27	ギター月夜 弥太郎笠 伊豆の佐太郎	山に咲く花 色恋し 「や」の字育ちの 弥太郎さんに 故郷見たさに 戻ってくれば	失? 股 股	放浪 放浪 放浪	○ ◎ ◎				○	
28	毒消しゃいらんかね 花の三度笠 落葉しぐれ	わたしゃ雪国 薬売り 男三度笠 横ちょにかぶり 旅の落葉が しぐれに濡れて	職 股 職	流転 放浪 流転	◎ ○ ◎	○	◎	○	◎	NHK テレビ本放送開始 続いて民放テレビも このころ うたごえ運動盛ん
29	哀愁日記 初めてきた港	山のひと夜の ゆきずりの 初めて来た この港	失 航	放浪 放浪	○ ○					
30	おんな船頭唄 カスバの女 親子船唄 ガード下の靴みがき 名月佐太郎笠 むすめ巡礼	嬉しがらせて 泣かせて消えた 涙じゃないのよ 浮気な雨に 舟は櫓まかせ 櫓は親まかせ 紅い夕日が ガードを染めて あれを御覧よ 浅間の空に 沖に寄る浪 とんとり	職 職異 職 戦 股	無宿 流転 無宿 無宿 放浪	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎	◎	○ ○	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	
31	十九の浮草	花の十九も 旅ゆく身では	職	流転	◎					30-32 神武景気
32	おさらば東京 雪の渡り鳥	死ぬほど辛い 恋に破れたこの心 合羽からげて 三度笠	失 股	放浪 放浪	◎ ◎	○		○	◎	32-33 鍋底不況
33	赤い夕陽の故郷	呼んでいる 呼んでいる 赤い夕陽の 故郷が	職	放浪望郷	◎					
34	大利根無情 ギターを持った渡り鳥	利根の 利根の川風 よしきりの 赤い夕陽よ 燃えおちて	股 職	(放浪) 放浪	○ ○	○			◎ ○	33-36 岩戸景気 34-35 安保闘争 所倍増計画
35	潮来笠 さすらい	潮来の伊太郎 ちょっと見なれば 夜がまた来る 思い出つれて	股	放浪 放浪	◎ ○	◎ ○	◎	○	◎ ◎	
36	ソーラン渡り鳥 湖愁 北帰行	津軽の海を 越えて来た 悲しい恋の なきがらは 窓は 夜露に濡れて	職 失	流転 放浪 放浪	○ ○ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎	○ ○	○ ◎ ○	創作は昭16 創作は大8
37	琵琶湖周航の歌 遠くへ行きたい	われは湖(うみ)の子 さすらいの 知らない街を 歩いてみたい	(放浪)	放浪	○	◎			◎	
38	夕陽の丘	夕陽の丘の ふもと行く	失	放浪	○	○				
39	水戸の黄門様 涙を抱いた渡り鳥	馴れぬ草鞋に 菅笠片手 ひと声啼いては 旅から旅へ	(股) 職	放浪 流転?	◎ ○	○			◎	海外渡航自由化、東京五輪、ベトナム戦争
40	網走番外地 女ひとり 東京流れ者 知床旅情	春に 春に追われし 花も散る 京都大原 三千院 流れ流れて 東京の 知床の岬に はまなすの咲く頃	失 失	放浪 放浪 放浪	◎ ◎ ○	◎ ○		○	◎ ◎ ◎	45リメイク
41	霧の摩周湖	霧に抱かれて 静かに眠る	失	放浪	◎	◎			◎	
42	虹色の湖	幸せが 住むという 虹色の湖	失	放浪	◎	◎			○	
43	盛り場ブルース	咲いて流れて 散って行く	職	流転?	○					43-44 大学紛争多発
44	風 長崎は今日も雨だった 東京でだめなら	人は誰も ただ一人旅に出て あなたひとりに かけた恋 東京でだめなら 名古屋があるさ	失 失	放浪 放浪	◎ ○				◎ ◎	
45	希望 男はつらいよ 酔いどれ女の流れ歌 京都の恋	希望という名の あなたをたずねて 俺がいたんじゃ お嫁にゃ行けぬ 酔いどれ女が 今夜も一人 風の噂を信じて 今日からは	失 失	放浪 放浪 放浪	◎ ○ ○	○ ○			◎ ◎ ○	41発表 大阪万博
46	さらば恋人 子連れ狼 冬の旅	さよならと 書いた手紙 しととびっちゃん しとびっちゃん ある日何かで これを読んだら	失 職 捨恋	放浪 捜仇 放浪	○ ◎ ○	◎			○ ○	為替変動相場制、石油危機 狂乱物価
49	岬めぐり 昭和枯れすすき 旅愁(片桐和子詞)	あなたがいつか 話してくれた 貧しさに負けた いえ 世間に負けた あなたをさがして ここまで来たの	失 失	放浪 放浪	○ ○	◎ ◎			◎ ○	
50	昔の名前で出ています 千曲川 北へ帰ろう	京都にいるときゃ 忍と呼ばれたの 水の流れに 花びらを 北へ帰ろう 思い出抱いて	職 失 失	(流転) 放浪 放浪	○ ○ ○	◎ ◎			◎ ◎ ◎	ベトナム戦争終結
51	もう一度逢いたい	あんな男と 言いながら	失	放浪	○				○	
52	津軽海峡冬景色 北へ あずさ2号 能登半島 愛の終着駅	上野発の夜行列車 おりた時から 名のない港に 桃の花は咲けど 明日(あした)私は 旅に出ます 夜明け間近 北の海は波も高く 寒い夜汽車で 膝を立てながら	失 失 失 失 失	放浪 放浪 放浪? (放浪) 放浪	○ ○ ○ ○ ○	○ ○			◎ ○ ○ ○	
53	かもめはかもめ みちづれ いい日旅立ち	あきらめました あなたのことは 水にただよう 浮草に 雪解け間近の 北の空に向かい	失 失	放浪? 放浪	○ ○	○			◎ ○	初発売は数年前 54 第二次石油危機
55	みちのくひとり旅 風雪ながれ旅	ここでいっしょに 死ねたらいいと 破れ単衣に 三味線抱けば	職	流転	○	○			◎	山口百恵引退
56	函館本線 哀しみ本線日本海	凍りついた線路は 今日 何処へ帰るの 海鳥たちよ	失 失	放浪 放浪	○ ○				◎ ◎	
57	冬のリヴィエラ	彼女(あいつ)によろしく 伝えてくれよ	失	放浪	○	◎			◎	
58	矢切の渡し 時をかける少女	「連れて逃げてよ」「ついておいでよ」 あなた 私のもとから	失 恋	放浪 (放浪)	○ ○	◎			◎ ○	初発売は 昭51
60	熱き心に	北国の旅の空 流れる雲	失?	放浪	○	◎			○	
61	無錫(むしゃく)旅情	君の知らない 異国の街で	失	放浪	○				○	61-63 狂乱地価
62	北の旅人	たどりついたら 岬のはずが	失	放浪	○				○	62 国鉄分割民営化
63	TRAIN-TRAIN	栄光に向かって走る	失	放浪	○				○	64 美空ひばり没